

体験寺子屋事業 実践事例（取組の一例）

実施区分
1泊2日

■ 実施主体

自治会、地区社会福祉協議会、PTA、学校関係者、幼稚園・保育園関係者、公民館職員で組織する実行委員会

■ 参加対象

小学4～6年生

■ 実施・宿泊場所

公民館



■ 事業の目的

☑ 家庭を離れ自分たちの力で生活体験をすることで、生活能力やお互いの立場を理解し協力する心を育む

■ 体験活動の内容

通学合宿、農業体験 など

■ スケジュール

時間	1日目(金曜日)	2日目(土曜日)
6:00	学校 (終業後、児童集合)	・起床(6:00)・施設清掃 ・朝食準備⇒朝食
12:00		・さつまいも掘り体験 ・反省会 ・退所式(12:00)
18:00	・入所式(17:00~) ・自己紹介・入浴(もらい湯) ・夕食準備⇒夕食	—
21:00	・班活動(学習支援、遊技など) ・就寝(21:00)	—

■ 経費内訳

歳入項目	金額	内容	歳出項目	金額	内容
補助金	40,000円	県補助金	報償費	0円	—
参加者負担	20,000円	1,000円 ×20人	旅費	0円	—
市補助金	8,000円	—	需用費	50,000円	食糧費 材料費 消耗品費 印刷製本費 感染症対策
自治会負担	12,000円	—	役務費	15,000円	保険代
合計	80,000円		使用料	15,000円	布団借用料
			合計	80,000円	

■ 工夫した点

- ☑ 公民館に入浴施設がないため、近隣のお宅のお風呂を借りて入浴した（もらい湯）
- ☑ 公民館に布団がないため、地域の寝具店より布団一式をレンタルして使用した（使用料として補助対象経費）
- ☑ 公民館職員が実行委員会の事務局を務め、多様な団体がボランティアで関わることで地域の連携を図った